

令和3年度決算状況



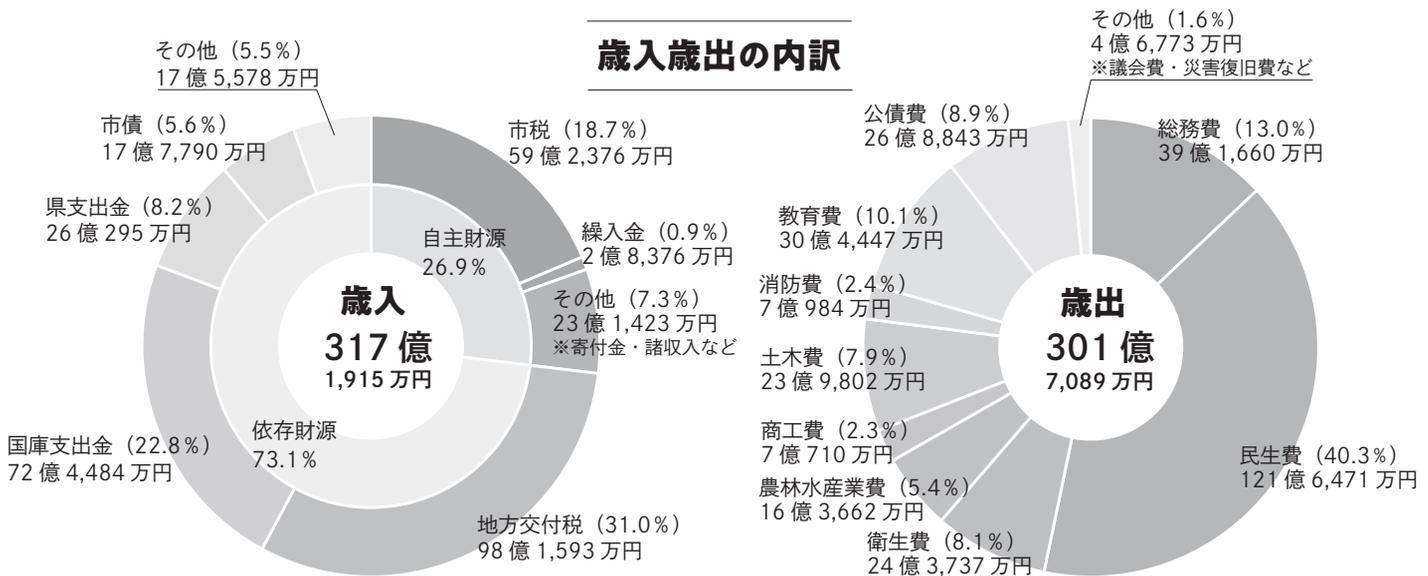
一般会計決算

市の一般会計の歳入総額は317億1,915万円、歳出総額は301億7,089万円となり、差引額は15億4,826万円となりました。この額から翌年度への繰越財源1億8,136万円を除くと、実質収支は13億6,690万円となり、令和2年度比で5億6,784万円の増となりました。

歳入歳出の決算額が減額となった主な要因は、令和2年度に特別定額給付金[10万円]給付事業(約53億円)の実施があったためです。

区分	令和3年度	令和2年度	増減額
歳入	317億1,915万円	378億1,640万円	△60億9,725万円
歳出	301億7,089万円	369億1,214万円	△67億4,125万円
差引	15億4,826万円	9億426万円	6億4,400万円
翌年度繰越財源	1億8,136万円	1億520万円	7,616万円
実質収支	13億6,690万円	7億9,906万円	5億6,784万円

歳入歳出の内訳



歳出内訳	事業内容	主な使い道
総務費	市の運営事務など	庁舎などの財産管理、自治会・地域の活性化事業、税務事務
民生費	子ども、高齢者等への福祉サービス	高齢者・障がい者への支援、生活保護費、児童手当、子育て世帯等臨時特別給付金
衛生費	市民の健康維持・健康増進	ゴミやし尿処理、子ども医療費助成、各種予防接種、新型コロナウイルスワクチン接種
農林水産業費	農林水産業の振興	農道・林道の整備、森林整備事業、農業施設の整備、鳥インフルエンザ対策
商工費	商工業の振興、観光業の振興	商工業・観光業の振興、プレミアム商品券、飲食業・観光業・中小企業緊急支援
土木費	道路、公園、住宅の整備など	市道、公園、公営住宅の整備・維持管理
消防費	消防、救急業務	消防業務、救急業務、防災対策事業
教育費	教育や生涯学習の推進	市立学校・幼稚園の維持管理、図書館の管理運営、陸上競技場全天候化改修
公債費	借金の返済	市の借金(市債)の返済費用
その他	議会活動、災害復旧など	議会運営、災害復旧事業

※下線は新型コロナウイルス対策事業

特別会計決算

会計名	歳入額	歳出額	差引額	主な事業内容
国民健康保険特別会計	76億3,738万円	74億6,388万円	1億7,350万円	自営業者などが加入する医療保険の運営
後期高齢者医療特別会計	7億5,498万円	7億5,373万円	125万円	75歳以上の高齢者等の医療保険の運営
介護保険特別会計	62億5,455万円	60億6,212万円	1億9,243万円	介護保険の運営
交通災害共済特別会計	1,957万円	814万円	1,143万円	交通事故の見舞金を支払う共済制度の運営
地方卸売市場特別会計	1,672万円	1,672万円	-	出水市公設地方卸売市場の施設管理

【用語解説】

- 一般会計・・・福祉・教育・都市整備等、行政運営の基本的な経費に、市税などを主な財源として計上している会計。
- 特別会計・・・特定事業の収入をその事業の支出に充て経理を行う会計で、一般会計とは切り離しています。
- 企業会計・・・使用料や診療報酬等、その事業における収入で支出をまかなう会計で、会計ごとに独立採算が原則。

企業会計決算

水道事業会計		令和3年度	令和2年度
収益的収入	収入	8億 3,165万円	8億 4,317万円
および支出	支出	7億 2,363万円	7億 2,124万円
資本的収入	収入	1億 3,554万円	1億 6,259万円
および支出	支出	4億 3,820万円	4億 8,383万円
当年度純利益		9,334万円	1億 350万円
当年度未処分利益剰余金		1億 5,945万円	1億 6,761万円
現金預金期末残高		11億 9,341万円	11億 2,296万円

病院事業会計		令和3年度	令和2年度
収益的収入	収入	58億 9,073万円	53億 9,188万円
および支出	支出	51億 5,812万円	51億 1,836万円
資本的収入	収入	8億 4,266万円	6億 6,610万円
および支出	支出	10億 3,883万円	8億 3,741万円
当年度純利益		7億 2,882万円	2億 7,170万円
当年度未処理欠損金 (当年度繰越欠損金)		5億 1,458万円	12億 4,339万円
現金預金期末残高		14億 662万円	5億 4,202万円

財産の状況

区分	令和3年度末現在高	令和2年度末現在高
土地 (うち山林)	3,272万 8,658㎡ (2,853万 2,604㎡)	3,273万 7,053㎡ (2,853万 4,895㎡)
建物	30万 917㎡	30万 7,033㎡
有価証券	4,588万円	4,588万円
出資金	1億 382万円	1億 382万円
貸付金	15億 7,440万円	15億 7,458万円
車両	160台	163台
基金	186億 4,482万円	181億 9,642万円

健全化判断比率

地方公共団体の財政破綻を未然に防ぐため、平成19年6月に財政の健全性をチェックする「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が制定され、平成19年度決算から財政の健全化に関する指標（健全化判断比率、資金不足比率）を作成し、公表しています。

指標 / 年度	令和3年度	令和2年度	用語説明と解説
実質赤字比率	-	-	一般会計の収支が赤字になる場合に、この赤字額が通常見込まれる収入に占める割合です。本市では、歳入歳出の差引額がプラスなので、算出されていません。
連結実質赤字比率	-	-	実質赤字比率を、特別会計と企業会計を含めた全ての会計をもとに算出した割合です。本市では、全会計において実質赤字が生じていないので、算出されていません。
実質公債費比率	7.7%	7.9%	借金返済のためのお金が、通常見込まれる収入に占める割合で、過去3年間を平均して算出する比率です（数値が低いほど資金繰りの危険度が低いことを示します。）。
将来負担比率	-	-	将来負担しなければならないお金が、通常見込まれる収入に占める割合です。本市では、基金（預貯金）積立額の増加などにより平成25年以降算出されていません。
資金不足比率	-	-	公営企業会計ごとに算出され、資金不足額が料金収入に占める割合です。本市では、各公営企業会計に資金不足が生じていないので、算出されていません。

主な財政指標

指標 / 年度	令和3年度	令和2年度	用語説明と解説
財政力指数	0.42	0.42	地方公共団体の財政基盤の強さを示すもので、数値が高いほど財政力が強いことを示します。
経常収支比率	86.9%	93.1%	市税、地方交付税などの経常的な収入が、人件費、扶助費、公債費などの経常的な支出にどの程度充てられたかを示す割合で、数値が低いほど財政に自由度があることを示します。

下水道事業会計		令和3年度	令和2年度
収益的収入	収入	19億 2,796万円	18億 9,079万円
および支出	支出	17億 9,555万円	18億 3,510万円
資本的収入	収入	6億 965万円	7億 6,119万円
および支出	支出	12億 1,577万円	11億 3,211万円
当年度純利益		1億 2,959万円	6,117万円
当年度未処分利益剰余金		1億 9,076万円	6,117万円
現金預金期末残高		2億 1,385万円	2億 1,904万円

【用語解説等】

収益的収支…公営企業の経営活動を行うための経常的な収支。

資本的収支…公営企業の施設・設備を整備するための収支。

当年度未処分利益剰余金…前年度繰越利益剰余金（または繰越欠損金）（当年度未処理欠損金）に当年度の純利益（または純損失）等を加減した額。

※当年度純利益には消費税が含まれていないため、

収益的収入および支出の差額と当年度純利益は一致しません。

※病院事業に関する詳しい内容は、出水総合医療センター広報誌【ひまわり】に掲載予定ですのでご覧ください。

市債の状況

会計名	令和3年度末現在高	令和2年度末現在高	
一般会計	238億 9,660万円	247億 352万円	
地方卸売市場特別会計	3,081万円	4,594万円	
企業会計	水道事業	34億 8,082万円	36億 2,377万円
	下水道事業	108億 8,576万円	115億 8,452万円
	病院事業	16億 4,362万円	15億 9,189万円
合計	399億 3,761万円	415億 4,964万円	